

放射能も怖いがアスベストも怖い震災がれき

——市民団体もマスコミにも盲点のアスベスト汚染——

週刊プレイボーイ2011年11月7日発売号

国民の多くが震災がれきの持込みに 反対するのは、それを汚染する放射能により将来のガン発症を心配するからだ。放射能のガレキの汚染レベルは場所によりその濃淡があるが、同じくガンを発症させるアスベストは場所を問わず、震災がれきを一律に高レベルで汚染している。だが、どの市民団体もメディアもその事実を指摘しない。1995年に発生した阪神淡路大震災では、がれき撤去に従事した人のうち、これまで3人がアスベストが原因となる中皮腫を発症した。そして東日本大震災に おいては、その震災がれきは自治体の枠を超えて全国に搬出されようとしている。日本の歴史上、経験したことのない公害問題に私たちは直面している。

●マスクをしていない…

3月11日の地震と津波で最大の被害を受けた宮城県石巻市。

数十台のトラックが並ぶ先には瓦礫の山ができています。瓦礫の山には何でもありだ。コンクリート、畳、タイヤ、プラスチック、鉄骨、家電…。この山をコンボが動くたびにホコリが舞い立つ。

だが、そこで働く作業員、警備員、瓦礫の山の近くを通る住民はマスクをしていない。していても、安物の風邪用マスクだ。

石巻市の「高橋屋根工業」(株)の高橋社長は顔を曇らせる。「絶望的です。季節はこれから乾燥に向かい、ますます瓦礫からホ



写真上：「1次仮置き場」にはありとあらゆる震災ゴミが搬入される。トラックの長蛇ができていた。

写真下：がれきの山は市街地にも当たり前にある。自転車の住民がマスクなしに通り過ぎる。

コリが舞い立ちます。**一番恐ろしいのはアスベストですよ。**

このままでは多くの作業員や住民が『被曝』します。